



第1024号
2007年2月18日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇2月の代祷・信施奉献先
▽ぶどうのいえのため▽ハンセン病問題啓発の日(11日)▽浦安集会・浦安宣教のため▽平和を実現するキリスト者ネットの働きのため▽東京教区神学生のため(25日)

《奉献先から》
浦安集会・浦安宣教

千葉県にありながら、東京デイズニールランドと言われるように、浦安は東京の文化圏。発展を続けている京葉線新浦安駅に浦安集会はある。2000年に家庭集会から20周年を迎え、集会所を確保して以来、毎主日の礼拝が守られている。市民に向けての「いのちを考える講演会」や、聖公会神学院との共催である「浦安セミナー」など継続している。昨年夏に

は、サラームパレスチナとの共催で、パレスチナの子どもたちの写真展が行われ、今年の子どもたちの英語クラスが、東京・聖オルバン教会の信徒であるアイランドの女性によって始まる予定に。地域に根ざした宣教を目指している。(市川聖マリヤ教会 司祭 三原一男)

◆大齋プログラム2
▽聖バルナバ教会「十字架の道行き」 2月23日より毎金曜日19時
▽目白聖公会「十字架の道行き」 2月23日より毎金曜日19時
▽聖マルコ教会・聖パトリック教会「説教交換」(前田良彦・加藤俊彦両司祭) 2月25日

今週・来週の予定

2月18日~3月3日

- 18(日) 大齋節前主日
多摩G牧師協議会
(~19日・青梅)
モニカ会幹事会 (神学院)
- 19(月) 主教座聖堂活動委員会
幼稚園委員会
聖職養成委員会
財政委員会
- 20(火) 礼拝音楽委員会
エルサレム教区協働委員会
- 21(水) 大齋始日
下町G大齋始日礼拝
(茨十字)
- 22(木) 常置委員会
- 23(金) 信仰と生活委員会
- 24(土) 幼稚園委・園長会 (池袋)
- 25(日) 大齋節第1主日
- 27(火) 銀座朝教会
- 3月
2(金) オルターギルド研修会
(~3日・ナザレ)
- 3(土) 山手G大齋静想会 (神学院)

(この用紙は再生紙を使っています)

今週水曜日から、いよいよ大齋節に入ります。「大齋節」は、教会暦の各シーズンの中でも、クリスマス前の降臨節と並んで、特にその意味を自覚して過ごすべき期間として大切にされています。

日本聖公会全 《大齋節を迎えて》
泣く人と共に泣きなさい

主教 植田仁太郎

祈りというのは、他者のための祈りに尽きる、と信じています。自分の成長と支えのため、また自分がいたでいてくれる恵

体で、「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」(ローマの信徒への手紙 十二の十五)の聖句とともに、この季節をとおして、ひとりひとりの克己(人間のあらゆる欲の誘惑にうち勝つこと)を呼びかけています。大齋節が、伝統的に、禁欲とさんげの季節とされているからです。それは同時に、イエス・キリストの復活の喜びを、それにふさわしい人間として迎えられる

みへの祈りも、もちろん大切ですが、それは一、二分もあれば祈り終わってしまいます。泣いている人と共に泣く、その祈りは、何と多くの関心と時間を割かねばならないことか…。

私の大齋節の課題です。
(東京教区主教)

【学びと働きから】32

銀座朝拝会7百回記念集会
新「世話人」探しが急務に

銀座朝拝会の名称で親しまれている祈禱会が、次週27日で7百回を迎える(既報)。

信徒有志が代々、世話人となって、出勤前のひとときを共に祈り聖書を読み合ってから都心の職場に出掛けまた送り出してきた祈禱会…。遠地から参加していた人も少なくはなかったと聞く。1973年3月13日に「東京教区成立50周年行事」の一環として開始されて(宣教委員会主催)以来、信徒を主体に、平日の早朝のそれも定期開催という容易なことでは行なえないさまざまな課題を抱えて受け継が

れてきた。教文館以後、会場の変転を余儀なくされたことも再三ではなかった。歴代信徒・世話人たちの祈りと尽力が、満34年、積み重ねた回数7百…という、今回の壮挙につなげたのだと言える。

記念集会是日本聖徒アンデレ同胞会(BSA)主催、信仰と生活委員会後援で3月16日(金)18時半夕禱会、19時講演会…、いずれも聖アンデレ教会・同ホールで行なわれる。講師に森一弘カトリック司教を迎え、「混乱する人類へのメッセージ」としてキリストの山上の説教の演題。教区・教派を越えて多数の参加をと呼び掛けられている。講演会後には、朝拝会関係者らの懇親会も別途、予定されている。

ただこの企画を終えたあと2

月にかけて、遺憾なことが…。

1985年以来、世話人を勤めてきていたのはBSA。その窓口担当者が職場を離れる事態(緊急長期入院)が生じ、BSAでは世話人の任を負うことができなくなったと、今後の運営を、宣教主事を介して信仰と生活委員会その他に委ねる結果となった。目下、関係者は世話人探しをする一方、開催時間や常設会場の見直しなど、柔軟に検討を進めている。早急に後任者が得られない場合は当面、休会やむなし…の状況に至るようだ。

今回の記念集会在、長い歴史を刻んだ銀座朝拝会の休会・終焉記念ではなく、新体制で35年目へ再開を期す集まりになるよう、願ってやまない。「裕」

正義と平和協議会運営
委員会報告(2月11日)

*「バーンサバイ共の会」の団体

加入を承認
*協議会便り第8号の発行企画

(イースター当日配付を目的)

*今年度活動計画・活動支援費の一部修正と確認

*下町G協議会主催「東京大空襲記念集会」(3月10日・聖ルカ礼拝堂)への協賛確認

*次回協議会、委員研修会の開催へ向けて協議(継続)、他

◆大齋プログラム1

▽聖マーガレット教会大齋研修会『黙想』のいのちの深呼吸。

2月25日より各主日13時〜14時半。①25日||霊性の養い/山口千寿司祭。②3月4日(次号)

《今、この教会では》

大森聖アグネス教会

当教会では、中高生会に年に4回、礼拝奉仕をしてもらっています。忙しい学校生活の中、礼拝の奉仕をしてくれる中高生や先輩格の大学生の姿は、我々に勇気と希望を与えてくれてるように思います。毎年のように主日の礼拝参加者が減少してい

ることに危機感をもつ私たちが、何をなすべきか途方にくれている中であって、若い人たちが教会に足を運び奉仕をしている姿は、一つの回答なのかなとの気持ちになってしまいます。こんな期待はかえって負担になるのかなと思う一方で、彼らが教会に居場所を感じてくれればと祈っています。(阿部園子)

▽:我が家には朝早くから近所の子どもたちが遊びに来ます。自分の家と他人の家の区別も大して無く、朝食と一緒に食べ、昼食と一緒に食べと楽しい時を過ごします。以前、居候をしていた教会でも同じように近所の子どもたちが出入りし、朝食を食べ、昼食を食べと、楽しい時を過ごしました。

教会が、家と同じようにくつろぎの場になり、安心を与えられる場所として存在していたのだと思います。「牧師家族がそういう風だったから」と済ませず、信徒一人一人の関わりで、くつろぎの場となり安心出来る場所として、教会が存在していて欲しいものです。(優)